

胡蝶蘭の花うるわしきこと

平成30年4月19日（木）

4月9日の入学式の朝に、胡蝶蘭が届きました。かつての恩師であり第二十五代校長でいらっしやった村山正之先生からでした。

昔、ランボウの詩集が図書館にあり、その図書カードに先生の名前を見つけ、借りたことを思い出します。ランボウの詩集の中の特に印象に残っている詩は、「いちばん高い塔の歌」です。

いちばん高い塔の歌

束縛されて手も足も出ない うつろな青春。

こまかい気づかいゆえに、僕は 自分の生涯をふいにした。

ああ、心がただ一すじに打ち込める

そんな時代は、ふたたび来ないものか？

